学校番号	2002B

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の地理総合（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとします。「地理総合」では、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化や問題などを、私たちの暮らしと「比較」しながら、地理的に考える力を身につけることを目指します。

学習している「国際社会」の内容と、私たちの生活とのつながりを常に意識しながら、地球的な視野を持って学習を進めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

・「世界の地理的事象についての基本的な知識」と「地図や GIS を活用できる地理的技能」が身についている。

【思考力、判断力、表現力等】

・世界の生活や文化の多様性、国々の結びつきを理解するとともに、そこから生じる社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて自分の意見を出し、人に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

・災害と隣り合わせのわが国において、地域調査を含めた防災への意識を醸成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国際社会の地理的課題について、理解するための知識が身に付いている。 国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などで情報を正しく読み取り活用できる。	国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現できる。	自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢をもっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地図や地理情報システムと現代社会	地球儀と地図 地図と地理情報システム	a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b:各種の地図にはどのような特徴があるのか、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	 ワークシート 課題
	結びつきを深める現代社会	現代社会の国家と領域 地図から見る国内や国家間の結びつき	a:世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 b:国家の領域はどのように定められており、日本を含めた世界ではどのような領土問題があるか、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	 ワークシート 課題

	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の産業と人々の生活 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 多様な生活文化と地理的環境	a:世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	ワークシート 課題
	事例研究（地誌）	産業（東アジア、アメリカ合衆国） 結びつき（東南アジア、オセアニア） 宗教・歴史（インド、サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ） 自然環境（中央アジア・西アジア・北アフリカ、ロシア）	a:歴史や宗教、自然環境と人々の生活との深い結びつきによる、古くからの景観や文化の継承について理解している。経済発展、外国とのつながりに伴う人々の生活文化の変化ついて理解している。 b:歴史や宗教、自然環境に着目しながら、人々の価値観がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。産業の特徴に着目しながら、経済発展や外国とのつながりに伴う人々の生活や文化の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:特徴的な自然環境、歴史や宗教、経済発展、外国とのつながりによる人々の生活の変化について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	ワークシート 課題
後期	地球的課題と国際協力	人口問題 食糧問題 都市・居住問題 感染症・衛生問題 資源・エネルギー問題 地球環境問題	a:地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで、どのように生じているのか、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	ワークシート 課題

	自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波や火山活動による災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	a:自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのか、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	ワークシート 課題
	生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのか、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	ワークシート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度